



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 株式会社メニコン 上場取引所 東・名
 コード番号 7780 URL https://www.menicon.co.jp
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 田中 英成
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役経営統括本部長 (氏名) 渡邊 基成 (TEL) (052)935-1515 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	41,521	△3.0	4,497	△1.3	4,738	3.8	3,196	6.8
2020年3月期第2四半期	42,824	6.8	4,558	56.0	4,564	57.5	2,992	65.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,506百万円(34.6%) 2020年3月期第2四半期 2,604百万円(34.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	84.70	84.07
2020年3月期第2四半期	84.47	78.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	94,613	55,999	59.0
2020年3月期	87,286	53,520	61.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 55,803百万円 2020年3月期 53,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,839	0.4	6,838	△2.8	6,821	4.1	4,256	4.8	112.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	38,033,444株	2020年3月期	38,015,944株
2021年3月期2Q	287,836株	2020年3月期	287,836株
2021年3月期2Q	37,737,927株	2020年3月期2Q	35,424,354株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に起因する経済の減速が続きました。各国の経済政策により持ち直しの動きがみられるものの、先進国における感染再拡大や、新興国で急速に感染が広まるなど依然として厳しい状況が続いております。また、国内経済についても感染再拡大により、個人消費の落ち込みや雇用情勢の悪化が懸念されておりますが、特別定額給付金やGO TO トラベルキャンペーン等の経済対策により、徐々に持ち直しの動きがみられております。

このような経営環境の中で、当社グループは第1四半期に引き続き感染拡大防止を徹底する方針のもと、事業活動に取り組んでまいりました。

各事業の状況は、以下のとおりです。

[国内コンタクトレンズ事業]

当社グループの販売店ではお客様に安心してご来店いただく環境づくりに努めました。具体的には店舗において接客カウンターへのアクリル板設置やフットペダル式アルコール噴霧器の導入に加え、メニコングループ販売店Miruホームページ上に感染防止対策の動画を公開いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響として春の需要期において、初めてコンタクトレンズを使用する方の来店時期の遅れを引き起こしましたが、経済活動の回復に伴い来店者が回復しつつあります。また、ユーザーは今まで以上に「清潔」を重視する価値観に変わりつつあります。当社ではこの変化に対応するため1 DAYコンタクトレンズ、特にレンズの内面にふれることなく清潔・簡単に装用できる「SMART TOUCH (スマートタッチ)」仕様のレンズの拡販に努めました。加えて、初めてコンタクトレンズを装用する方に安全・安心に使用していただくことを目的として、メルスプランにおいて「1 DAYデビュー応援キャンペーン」を展開いたしました。

また、サークルレンズ市場への参入と若年層の需要に応えるため、1日使い捨てサークルレンズ「1 DAY FRUTTIE」を発売いたしました。当社の掲げる安全哲学憲章の考えに基づき消費者の安全意識を高めながらサークルレンズを拡販してまいります。

[海外コンタクトレンズ事業]

海外においても新型コロナウイルス感染症抑制のための世界的な外出自粛及び休業により、営業活動が影響を受けましたが、当該環境下で感染防止対策を講じながら営業活動の継続及び新製品の投下を行いました。

欧州市場においては酸素透過性の高いシリコーンハイドロゲル素材を使用した1日使い捨てコンタクトレンズ「Miru 1 day UpSide」シリーズのラインアップを強化し、市場から高い評価を獲得しております。

中国市場においては新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、オルソケラトロジーレンズ等の販売が堅調に推移いたしました。また、同国ではカラーコンタクトレンズが使い捨てコンタクトレンズ市場の50%を占めており、さらなる売上獲得を目的として1日使い捨てサークル(カラーコンタクト)レンズ「1 DAY FRUTTIE」発売の準備を進めました。

[その他事業]

株式会社メニワンにおける動物医療事業では動物用眼底カメラ「クリアビュー2」を発売いたしました。既にリリースしております、AIによる獣医師向け犬の眼科診察サポートサービス「Fundus AI」と合わせてご利用いただくことで犬の眼科疾患の早期発見、治療に役立てていただくことが可能です。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりです。売上高は、営業活動の再開に伴い徐々に回復しておりますが、前年同四半期においては消費税増税前の需要が発生していたことから41,521百万円(前年同四半期比3.0%減)の減収となり、売上総利益は22,116百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。また、営業利益については4,497百万円(前年同四半期比1.3%減)、経常利益は主に海外子会社にて新型コロナウイルス感染症に関する助成金収入が計上されたことから4,738百万円(前年同四半期比3.8%増)となりました。以上の要因により親会社株主に帰属する四半期純利益は3,196百万円(前年同四半期比6.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①コンタクトレンズ関連事業

コンタクトレンズ関連事業の売上高は40,757百万円（前年同四半期比2.9%減）、セグメント利益は6,843百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。詳細は以下のとおりです。

コンタクトレンズ関連事業においては前年同四半期と比較して売上高が1,233百万円減少いたしました。主な要因は前年同四半期における消費税増税前の需要及び新型コロナウイルス感染症の影響によりコンタクトレンズの物販売上高が前年同四半期比で2,360百万円減少したことによるものです。一方でメルスブランは前年同四半期と比較して会員数が増加しており、売上高も544百万円増加しております。

その他、市場拡大が続く中国事業につきましても引き続きオルソケラトロジーレンズ及びコンタクトレンズケア用品の販売が堅調に推移いたしました。

②その他

その他事業は、ライフサイエンス分野における妊活事業の認知度が向上し、サプリメント等の売上伸長につながりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高は764百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。その結果、セグメント損失は230百万円（前年同四半期セグメント損失は179百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末において総資産は94,613百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,326百万円の増加となりました。流動資産は主に長期借入の実行による現金及び預金の増加により、5,361百万円増加し47,083百万円となりました。また、固定資産は主に各務原工場の1 DAYコンタクトレンズ増産の設備投資により1,965百万円増加し47,529百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は長期借入の実行及びリース資産の取得に伴うリース債務の増加等により、前連結会計年度末に比べ4,847百万円増加し38,613百万円となりました。

また、純資産は主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ2,478百万円増加し55,999百万円となりました。

この結果、自己資本比率は59.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,917百万円増加し20,708百万円（前連結会計年度比23.3%増加）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益及び減価償却費が増加したことにより、3,581百万円の収入（前年同四半期は1,905百万円の収入）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に各務原工場の建屋増床及び生産設備増設による有形固定資産の取得による支出が増加したことにより、5,874百万円の支出（前年同四半期は3,208百万円の支出）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入れによる収入により、6,045百万円の収入（前年同四半期は760百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により物販売上高が減少したこと、また前第2四半期連結会計期間においては、消費税増税前の需要による売上高増加があったことにより、前年同期比で減収となっておりますが、メルスプラン会員数が伸長していることもあり、売上高は計画通りに推移しております。営業利益は2021年3月期通期の連結業績予想に対して進捗率が高く推移しておりますが、下半期(第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間)にて新商品を含む1日使い捨てコンタクトレンズカテゴリーにおける販売拡大やメルスプラン会員数増加に向けた販促強化のための費用の使用を予定しております。以上より、2021年3月期通期の連結業績予想につきましては2020年8月11日に発表したものから変更はありません。

2021年3月期通期の連結業績予想は、感染拡大による再度の緊急事態宣言の発出等の社会的制限が実施されないことを前提として算定しております。実際の業績は新型コロナウイルス感染症の収束時期等、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,327	20,746
受取手形及び売掛金	9,733	9,968
商品及び製品	9,798	10,913
仕掛品	905	1,171
原材料及び貯蔵品	2,226	2,471
その他	1,878	1,975
貸倒引当金	△148	△164
流動資産合計	41,722	47,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,895	21,881
減価償却累計額	△10,204	△10,555
建物及び構築物(純額)	10,690	11,326
機械装置及び運搬具	22,447	22,959
減価償却累計額	△14,798	△15,589
機械装置及び運搬具(純額)	7,649	7,369
工具、器具及び備品	7,911	8,128
減価償却累計額	△6,559	△6,766
工具、器具及び備品(純額)	1,352	1,362
土地	4,926	4,954
リース資産	849	1,446
減価償却累計額	△726	△197
リース資産(純額)	122	1,248
使用権資産	4,782	5,366
減価償却累計額	△644	△1,008
使用権資産(純額)	4,137	4,358
建設仮勘定	5,793	6,437
有形固定資産合計	34,672	37,057
無形固定資産		
のれん	2,437	2,096
特許権	975	852
その他	3,651	3,665
無形固定資産合計	7,064	6,614
投資その他の資産		
投資有価証券	505	523
長期貸付金	48	47
繰延税金資産	1,254	1,221
その他	2,033	2,075
貸倒引当金	△15	△10
投資その他の資産合計	3,826	3,857
固定資産合計	45,564	47,529
資産合計	87,286	94,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,373	4,119
短期借入金	77	86
1年内償還予定の社債	1,465	1,348
1年内返済予定の長期借入金	1,798	1,455
リース債務	720	905
未払金	4,583	4,139
未払法人税等	1,398	1,646
賞与引当金	1,598	1,452
ポイント引当金	67	32
その他	5,669	3,531
流動負債合計	21,751	18,718
固定負債		
社債	4,082	3,466
長期借入金	1,692	9,108
リース債務	3,594	4,764
長期未払金	1,485	1,419
退職給付に係る負債	622	607
繰延税金負債	339	326
資産除去債務	105	107
その他	93	94
固定負債合計	12,014	19,894
負債合計	33,765	38,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,396	5,402
新株式申込証拠金	1	—
資本剰余金	6,658	6,627
利益剰余金	42,764	44,904
自己株式	△441	△441
株主資本合計	54,378	56,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	55
為替換算調整勘定	△1,020	△745
その他の包括利益累計額合計	△999	△689
新株予約権	88	150
非支配株主持分	53	46
純資産合計	53,520	55,999
負債純資産合計	87,286	94,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	42,824	41,521
売上原価	19,560	19,405
売上総利益	23,264	22,116
販売費及び一般管理費	18,705	17,619
営業利益	4,558	4,497
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	5	6
為替差益	—	9
助成金収入	41	285
その他	147	105
営業外収益合計	197	408
営業外費用		
支払利息	82	109
持分法による投資損失	40	17
為替差損	45	—
その他	22	39
営業外費用合計	191	167
経常利益	4,564	4,738
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	15	10
その他	—	0
特別利益合計	16	10
特別損失		
固定資産除却損	9	26
補助金返還損	—	30
その他	0	5
特別損失合計	9	61
税金等調整前四半期純利益	4,570	4,686
法人税、住民税及び事業税	1,545	1,480
法人税等調整額	31	9
法人税等合計	1,576	1,490
四半期純利益	2,994	3,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,992	3,196

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,994	3,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	35
為替換算調整勘定	△352	268
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	6
その他の包括利益合計	△389	310
四半期包括利益	2,604	3,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,602	3,506
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,570	4,686
減価償却費	2,048	2,432
のれん償却額	460	352
補助金収入	△15	△10
受取利息及び受取配当金	△8	△8
支払利息	82	109
為替差損益(△は益)	15	△39
売上債権の増減額(△は増加)	△358	△220
たな卸資産の増減額(△は増加)	△318	△1,583
仕入債務の増減額(△は減少)	△662	△257
未払金の増減額(△は減少)	△254	△620
賞与引当金の増減額(△は減少)	△66	△148
その他	△2,171	162
小計	3,320	4,854
利息及び配当金の受取額	7	7
利息の支払額	△50	△63
法人税等の支払額	△1,388	△1,227
補助金の受取額	15	10
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,905	3,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	19	500
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
無形固定資産の取得による支出	△338	△549
有形固定資産の取得による支出	△2,865	△5,751
有形固定資産の売却による収入	0	0
その他	△24	△74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,208	△5,874
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,998	9
長期借入れによる収入	—	8,000
長期借入金の返済による支出	△1,021	△926
社債の償還による支出	△982	△732
セール・アンド・リースバックによる収入	—	1,206
リース債務の返済による支出	△276	△467
配当金の支払額	△985	△1,053
その他	28	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	760	6,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	△150	165
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△692	3,917
現金及び現金同等物の期首残高	19,286	16,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,593	20,708

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

2021年3月期の連結業績予想を感染拡大による再度の緊急事態宣言の発出等の社会的制限が実施されないことを前提として算定し、2020年8月11日付で開示しておりますが、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束見通し時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ 関連事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	41,990	41,990	833	42,824
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	41,990	41,990	833	42,824
セグメント利益 又は損失(△)	6,979	6,979	△179	6,799

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、新規事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,979
「その他」の区分の利益	△179
全社費用(注)	△2,241
四半期連結損益計算書の営業利益	4,558

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ 関連事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	40,757	40,757	764	41,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	40,757	40,757	764	41,521
セグメント利益 又は損失(△)	6,843	6,843	△230	6,612

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、新規事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,843
「その他」の区分の利益	△230
全社費用(注)	△2,115
四半期連結損益計算書の営業利益	4,497

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。